

# 服装の選択制第2回検討委員会【概要】

日時: 令和7年10月8日(水) 18:00~

参加者: 保護者: 2名

学校運営協議会委員: 4名

アドバイザー: 1名

教職員: 4名(校長、教頭、教諭2名)

## 1. 校長挨拶

- ・参加者は教職員、保護者、学校運営協議会委員、アドバイザーに集まっていた。
- ・児童の座談会動画を視聴していただく。座談会には12名が自主的に参加した。
- ・今後どんなことが問題になっていくのか、円滑に導入するためという目的で協議を進めていきたい。

## 2. 自己紹介

省略

## 3. 「服装のはなし」子ども座談会の動画視聴

別資料参照

## 4. 検討会【概要】※発言内容を一部要約して表記してあります

### 【アドバイザー】

- ・選択できるよさを発言する意見が多かったので、デメリットを聞き出したかった。
- ・子どもの中には、子供らしさ、学校らしさ、儀式らしさなどが内在しているようだった。

### 【保護者1】

- ・選択できるよさに共感している。揃うことの良さ、学校の良さを子どもから聞いてハッとした。
- ・私服は季節で調節できるよさがあるので、制服の割合はだんだん少なくなっていくのではないかと思った。
- ・服装の選択制の経緯や多様性については理解している。

### 【保護者2】

- ・子どもたちが自分の意見を言えているのがよかった。
- ・制服のよさは「きちんとしている」と「揃うこと」の意見が多かった。
- ・友達に私服を否定された時に親としてどんな言葉掛けをしていけばよいか。
- ・私服は親が選んでいるのではないかと思う。男の子は親の意見を受け入れやすいのでは。

### 【学校運営協議会委員1】

- ・うちの子どもは自分で服を選んでいる。スカートが嫌なのでショートパンツを履いている。自分で選ぶことができるのはよい。
- ・制服は身だしなみの指導がしやすいが、私服が加わることでシャツが出ていたり、ボタンをとめていないなど、身だしなみの指導上の弊害もあることがわかった。
- ・自分は県外出身で小学校は私服、中学校は制服だった。中学校で制服を経験をするのでよいと思う。反面、選択制だと身だしなみの指導の難しさがある。

#### 【学校運営協議会委員2】

- ・(金沢で)ずっと制服を着用してきた今の大学生の中には、私服を選ぶ時に困っている学生もいる。TPOに合わせる経験をするのは大切。しかし、小学生の場合は親が選んでいる事もあるのではないと思う。保護者も多様化しているので基準を作っても「なぜ？」という意見が出てくることがあると思う。
- ・学校だけが指導をするのではなく、家庭においての躰が基本だと思う。

#### 【学校運営協議会委員3】

- ・子どもは、親や先生を見ていろいろなことを考えていると思った。制服によって帰属意識が変わるという意見があってよかった。自分個人としては、制服でも私服でもどちらでもよいと思う。大切なことは学校側が円滑に進めることができること。どちらにしても反対意見は出るものである。

#### 【学校運営協議会委員4】

- ・制服でも自由服でもよいと思う。
- ・結婚式、葬式などドレスコードがあるのでそれぞれの経験から学べばよい。
- ・親の感覚が影響する。子どもより、親の感覚が大事である。

#### 【教頭】

- ・子どもたちの意見から「揃う」ことの気持ちよさを感じているようだ。
- ・他の人の服装を否定してはいけないという指導は必要。

#### 【学校運営協議会委員2】

- ・基準や定義を考えると、学校はフォーマルの場合である。私的な自由と学校のフォーマルの自由とは違う。何でも良いというのは違う。そこがないと、自由をはき違える場合がある。子どもと親がともに分かる基準があればよい。例えば、富士山をサンダルで登る人が出てくるケースが参考になる。

#### 【アドバイザー】

- ・TPOというのは、言い換えると『～らしさ』と置き換えられると思う。学校は「フォーマルの場」と考えていいのか。これまで小中高校の校則を見てきた中で「学校らしさ」「子どもらしさ」という言葉は消えていった。しかし、子どもも大人も意識は消えてはいない。意識の中で「子供らしさ」「学校らしさ」を求めているのではないか。

#### 【教師1】

- ・子どもの話を聞いて服装の選択制の論点が次のフェーズに入っていると感じた。私服のことで何か言われるかもしれないという抵抗感を感じるころから、子どもたちは学校への帰属意識などが失われているのではないかと感じるようになってきている。制服には礼節を感じており、マナーの低下を心配する声もあった。安全を守る必要も感じている。6年生を中心に選択できるようになったからこそその気づきがあるようだ。服装の選択制が始まってからは、連音などの行事でみんな揃える気持ちよさや帰属意識を高めていけることになるのではないか。学校として礼節、マナー、安全は引き続き指導していく場が今度さらに大切になる。

#### 5. 校長より

- ・選ぶことができる環境について皆さんの意見を聞かせていただいた。
- ・10月15日に新入生保護者説明会がある。服装の選択制の説明をする予定である。今後は実施しながら改善を加えていくことで子どもにとってよりよい制度にしていきたい。